アフターサービスについて

■アフターサービス（点検・修理など）を依頼される前に

- 34～37ページの「故障！とお考えになる前に」「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
  確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
  1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印など）
  2. 品　名…31-277型（品名は機器のフロントカバーに張ってある銘板の下部に書いてあります）
  3. 現　象…できるだけ詳しく
  4. 訪問ご希望日

(N)31-277
大阪ガス株式会社

■転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 転居、移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- このガスふろ給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガスふろ給湯器の故障について修理いたします。
  詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますのでこの取扱説明書とともに大切に保管してください。

■修理用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- この機器の修理用性能部品の最低保有期間は10年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。

⚠危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。

CH68-905×01(00)
98.08.(02)●

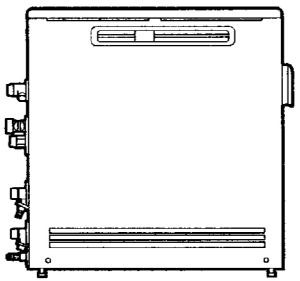
取扱説明書

家庭用　BL認定品

ガスふろ給湯器
32-509型
31-277型

大阪ガス

型式名
RUF-2403AGN(A)
RUF-2403SAGN



ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

- ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。
- この製品は国内専用です。

もくじ

ページ

- 安全上のご注意 …… 1
- 特長 …… 6
- 各部のなまえとはたらき …… 7
- はじめてお使いのときは、まず …… 11
- 使用方法 …… 12
- 冬期の凍結による破損防止について … 29
- 長期間使用しない場合は …… 32
- 点検・お手入れのしかた …… 33
- 故障！とお考えになる前に …… 34
- 故障・異常の見分け方と処置方法 …… 37
- 主な仕様 …… 38
- アフターサービスについて …… 裏表紙

安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表示	意味
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

傷　害　：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害　：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示については次のような意味があります。

一般的な危険 警告 注意　火災注意　一般的な禁止　触れるな　ぬれ手禁止

分解禁止　必ず行うこと　電源プラグをコンセントから抜け　必ずアース線を接続せよ

⚠

屋内設置禁止

この機器は屋外用です。
屋内や浴室内に設置して使用しないでください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

機器の異常に気付いたら

①給湯栓をすべて閉める。

必ず行う

②ガス栓を閉める。

- 使用中に異常な燃焼・臭気(ガスのにおい)・異常音を感じたときはあわてずに運転を停止してガス栓を閉め、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 地震や火災発生時もあわてずに運転を停止してください。

⚠

工事は資格必要

必ず行う

この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

囲い設置禁止

この機器は屋外用ですので、増改築などによって屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをすることもおやめください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

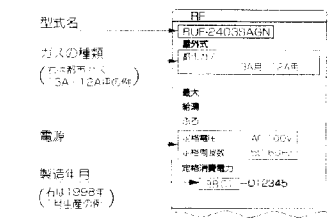
機器の銘板を確認

必ず行う

※この機器の銘板はコントローラーここに貼ってあります。

使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50/60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼や爆発点火の原因となります。

※下図は銘板の一例です。



この機器はAC100V(50/60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止

電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」禁止

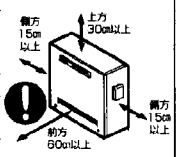
ガスのにおいのする場所での電話の使用禁止

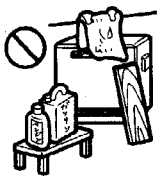
ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

安全上のご注意

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保すること。
- 排気口が洗たくものなどでおおわれないようにすること。
- 機器周辺に紙や木材などの燃えやすいものを置かないこと。
- 機器周辺にガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないこと。
- 機器周辺にスプレー缶を置いたり、使用したりしないこと。
- 火をつけたまま就寝や外出はしないこと。





電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。
火災の原因になります。

用途について

給湯・シャワー・ふろのおいだき以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。

機器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。

やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出ることがあります。やけどの危険性がありますので、出始めのお湯は手や体にかけないでください。
- シャワー(上がり湯)を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけず、湯温を十分に確認してから行ってください。

- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水でびっくりすることがあります。

使用中や使用直後は排気口やその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。

おいだき中やおいだき後は浴槽水の上部と下部では相当の温度差があり、やけどのおそれがあります。入浴時には十分にかきまぜてください。

機器の破損防止のため必ず行うこと

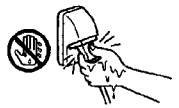
- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。また、感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

冬期に水道水が凍結するおそれがある日は、下記のいずれかの方法で凍結予防を行ってください。
(29~31ページ参照)

1. 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法
2. 給湯栓から水を流す方法
3. 水抜きによる方法

感電防止のために

感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。



事故防止のために

不慮の事故防止のため、長時間使用しないときはガス栓を閉めてください。

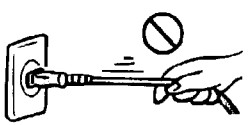
ゆらぎのシャワー使用上の注意

次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。体調をくずすことがあります。

①妊娠中の方
②医者から入浴を禁じられている方
③お酒を飲んだあとや深酒をされた方
④高血圧の方
⑤体力の弱っている方
⑥体調の悪い方

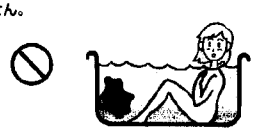
電源ケーブルの取り扱いについて

電源ケーブルを引っぱってプラグを抜かないでください。ケーブルが断線して発煙・発火の原因となります。



入浴時には

浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。ふさぐと循環不良となり、おふろ湧かしができません。



安全上のご注意

機器の設置状態についての確認

1)機器は傾いて設置されていませんか？
2)冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？正常な燃焼の妨げになることがあります。
3)棚の下など落下物の危険はありませんか？
4)メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
5)排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？不完全燃焼の原因になります。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることになりますのでご承知おきください。

この機器は太陽熱温水器と接続できません。

機器やリモコンの分解は禁止

サービスマン以外の方は機器のフロントカバーをはずしたり、分解しないでください。また、リモコンも分解しないでください。事故や故障の原因となります。

別売部品について

別売部品はこの機器用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

リモコンの取り扱いについて

リモコンは子供がイタズラしないようにご注意ください。思わぬ事故や故障の原因となります。

浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。

リモコンのお手入れにベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。変色や変形することがあります。

入浴剤などについて

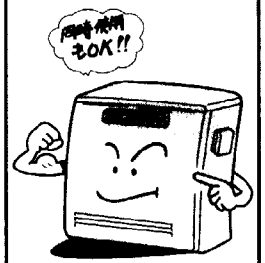
硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となるものがありますので入浴剤のご注意文を十分ご参照ください。

塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガス管などにかかった場合はすぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。

給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。

特徴

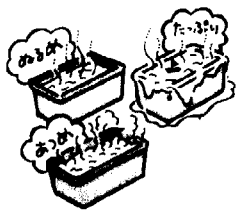
給湯もおふろ沸かしもこれ一台でOKです。



スイッチ、ポンでおふろ沸かしができ、おふろが沸きあがるとブザーでお知らせします。(13ページ参照)

お好きな時刻におふろが沸かせる(または沸かし上げておくことができる)予約運転ができます。(21ページ参照)
※台所リモコン設置時のみ

お好みに合わせて『あつめ』(おいだき)や『ぬるめ』(ぬる湯)、また『たっぷり』(たし湯)のおふろが楽しめます。(18～20ページ参照)



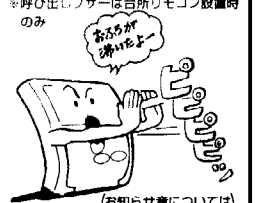
おふろ湯温と湯量の見はりは機器におまかせ。(自動運転時)
※湯量については32-50J型のみ

給湯保温運転により、お湯待ち時間が短くなります。(25ページ参照)

『ゆらぎのシャワー』で心と体のリフレッシュ!! (27ページ参照)

※ゆらぎのシャワーはお湯の温度が1/fのゆらぎで変化し、自然のリズムで体をリフレッシュさせるシャワーです。

リモコンにはブザーが付いていますので、おふろの沸き上げ完了のお知らせや、浴室から台所などへの呼び出しができます。
※呼び出しブザーは台所リモコン設置時のみ



(お知らせ音については7ページをご覧ください)

- お湯の断続使用での湯温安定機能(Q機能)搭載により湯温の安定性を向上させました。
- リモコンの表示画面で、給湯・おふろの温度や時刻などが一目で分かります。
- おふろのお湯の量は浴室リモコンでお好みの量に設定できます。(17ページ参照)
- 冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒータが組み込まれています。(29ページ参照)

各部のなまえとはたらき（浴室リモコン）

■浴室リモコン

- 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音がします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコンのブザーが鳴り、台所にいる人を呼び出すこともできます。

優先スイッチ(オレンジ)
リモコンの優先権の切り替えに使います。

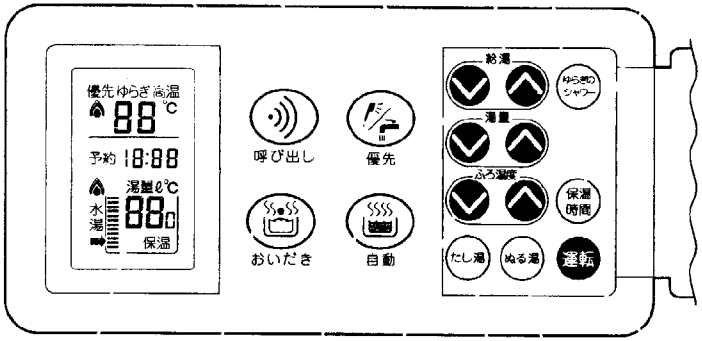
給湯温度スイッチ
給湯温度を決めるときに使います。
(23ページ参照)

ゆらぎのシャワースイッチ
ゆらぎのシャワーを使うときに押します。(27ページ参照)

呼び出しスイッチ
押すと台所リモコンのブザーが鳴ります。

湯量スイッチ
湯はり量を決めるときに使います。
(17ページ参照)

保温時間スイッチ
おふろの保温時間を決めるときに使います。
(16ページ参照)



表示画面
お湯の温度や運転状態、時刻などを表示します。

ふろ温度スイッチ
おふろの湯はり温度を決めるときに使います。
(15ページ参照)

運転スイッチ
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」(表示画面点灯)にします。

おいだきスイッチ(緑)
おふろのおいだきをしたいときに押します。
(18ページ参照)

自動スイッチ(赤)
おふろに湯はりをするときに押します。
(13ページ参照)

たし湯スイッチ
おふろのお湯をふやしたいときに使います。
(20ページ参照)

ぬる湯スイッチ
おふろのお湯をぬるくしたいときに使います。
(19ページ参照)

- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
- 操作確認音およびおふろへの湯はり完了のお知らせは運転スイッチが「入」のときに給湯温度スイッチ ▼ ▲ 2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は浴室リモコン・台所リモコン・増設リモコン別々にできます。
  もとに戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

■浴室リモコン表示画面のみかた

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
  点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

優先表示(オレンジ)
この表示が点灯中は給湯温度が変えられます。

給湯燃焼表示(赤)
お湯を使っているときに点灯します。

予約表示
予約運転をしているときに表示します。

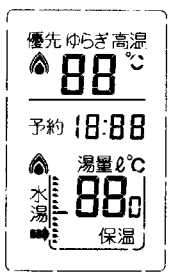
ふろ燃焼表示(赤)
おふろのおいだき中に点灯します。

注水表示
ぬる湯運転中に点灯します。

注湯表示
たし湯運転中に点灯します。

ふろ運転表示
自動・おいだき・たし湯・ぬる湯運転中に点灯します。

ゆらぎの表示
この表示が点灯中はゆらぎのシャワーが使用できます。



水位表示
おふろの設定水位のめやすを表示します。

保温表示
おふろのお湯を保温中に表示します。

高温表示
お湯の温度が60℃に設定されているとき点灯します。

給湯温度表示
お湯の温度のめやすを表示します。

時刻表示
現在時刻や予約時刻を表示します。(台所リモコン設置時のみ)

故障表示
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。

湯量表示(単位ℓも含む)
湯はり量調節スイッチ操作中はふろ温度表示が自動湯はりの湯量表示に変わります。
(31-277型のみ)

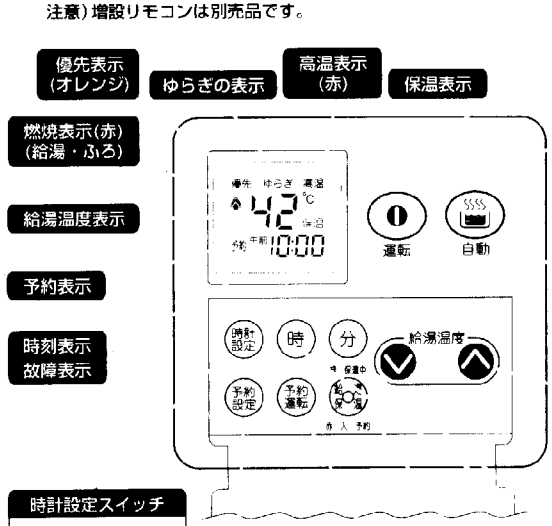
ふろ温度表示
おふろへの湯はり温度やたし湯の温度のめやすを表示します。

各部のなまえとはたらき（台所リモコン・機器本体）

■台所リモコン・増設リモコン((4)46-273型)

- 台所や洗面所に設置されているリモコンです。
  各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音がします。
- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
  点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

注意）増設リモコンは別売品です。



表示画面
お湯の温度や運転状態、時刻などを表示します。

運転スイッチ
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」（表示画面点灯）にします。

自動スイッチ（赤）
おふろに湯はりをするときに押します。
（13ページ参照）

給湯温度スイッチ
給湯温度を決めるときに使います。
フタの上にも同様のスイッチ（▽△）があります。
（23ページ参照）

「時」「分」スイッチ
現在時刻や予約時刻の「時」「分」を合わせます。
増設リモコンにはこのスイッチはありません。

給湯保温スイッチ 給湯保温ランプ
給湯保温運転をするときに押します。スイッチを押すとランプが赤く光り、保温運転中は緑色に変わります。
（25ページ参照）
増設リモコンにはこのスイッチはありません。

時計設定スイッチ
リモコンの時計を現在時刻に合わせるときに使います。
（12ページ参照）
増設リモコンにはこのスイッチはありません。

予約設定スイッチ
予約運転や給湯保温予約の時刻を決めるときや変更するときに使います。
（21・26ページ参照）
増設リモコンにはこのスイッチはありません。

予約運転スイッチ
予約運転や給湯保温予約をセットするときに押します。
（21・26ページ参照）
増設リモコンにはこのスイッチはありません。

・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
・操作確認音およびおふろへの湯はり完了のお知らせは運転スイッチが「入」のときに給湯温度スイッチ（▽△）2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。
この設定は浴室リモコン・台所リモコン・増設リモコン別々にできます。
もとに戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

■台所リモコン・増設リモコン表示画面のみかた

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示点灯を確認してください。
  点灯しない場合はもう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのものです。実際の運転状態を示すものではありません。

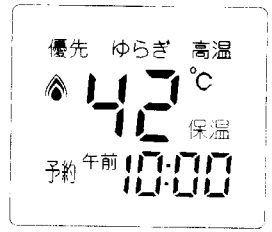
ゆらぎの表示
この表示が点灯中はゆらぎのシャワーが使用できます。

優先表示（オレンジ）
この表示が点灯中は給湯温度が変えられます。

給湯・ふろ燃焼表示（赤）
お湯を使っているときに点灯します。

予約表示
予約運転をしているときに表示します。

高温表示
お湯の温度が60℃に設定されているとき点灯します。

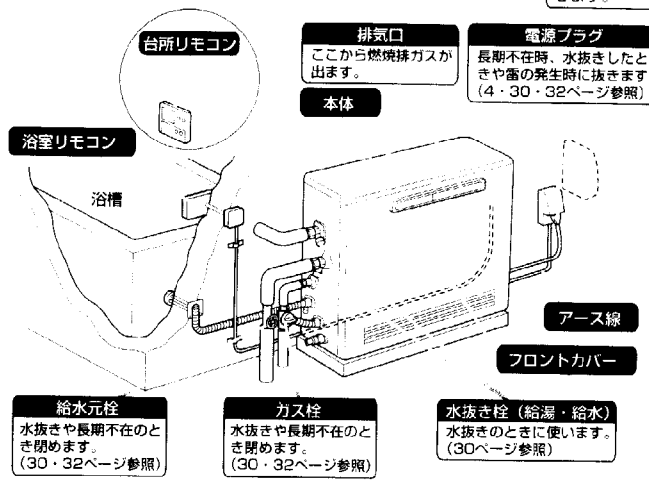


給湯設定温度表示
お湯の温度のめやすを表示します。

保温表示
おふろのお湯を保温中に表示します。

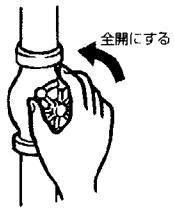
時刻表示
現在時刻や予約時刻を表示します。

故障表示
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。



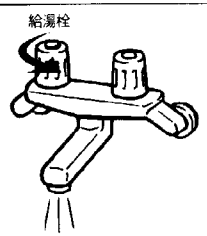
はじめてお使いのときは、まず…

1 給水元栓を全開にします。



機器の側部

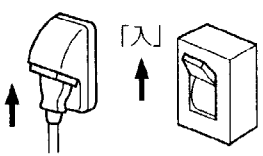
2 給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから閉めます。
(すべての給湯栓について)



お湯の使用場所

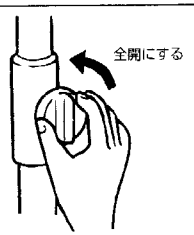
3 電源プラグをコンセントに差し込みます。
(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)

⚠注意 ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。



機器付近の壁

4 ガス栓を全開にします。



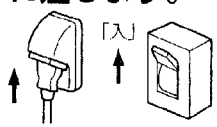
[redacted]

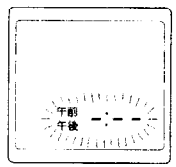
使用方法① 時計合わせ

台所リモコンで操作します。

・浴室リモコンのみ設置の場合は時刻は表示されません。(予約運転もできません)
・現在時刻を合わせないと予約運転ができません。

1 電源プラグをコンセントに差します。

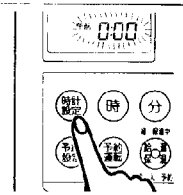




●電源プラグを差し込む(または分電盤の専用スイッチを「入」にする)と、上図の表示が点滅します。

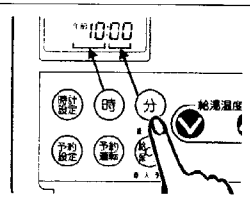
2 台所リモコンのフタを開け、時計設定スイッチを押します。

●時計設定スイッチを押すと、表示画面の時刻表示が午前 0:00 となり点滅します。



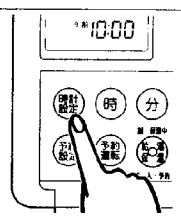
3 時・分スイッチで現在の時刻に合わせます。

●時・分スイッチを押しながら現在の時刻を画面に表示します。
※押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



4 時計設定スイッチを再度押します。

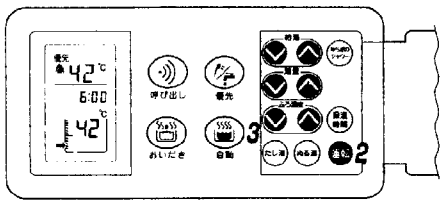
●時計設定スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。
●台所リモコンで時刻合わせが完了すると同時に、浴室リモコンにも時刻が表示されます。



・午前と午後を間違えないようにご注意ください。
・電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には --:-- の表示に戻ります。再度時刻を合わせてください。

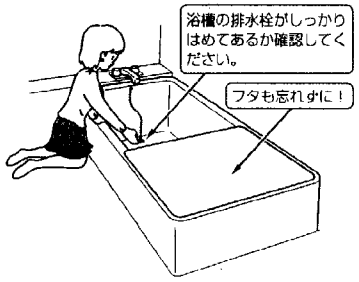
使用方法② おふろに自動で湯はりします

浴室・台所・増設リモコンのどれでも操作できます。



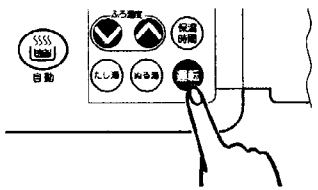
おふろの温度や湯はり量・保温時間の調節方法は、15～17ページをご覧ください。

1 浴槽に排水栓とフタをします。



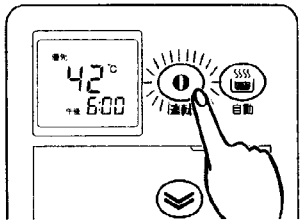
2 運転スイッチを押します。

浴室リモコンの場合

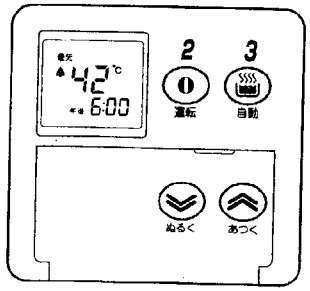


●表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に台所・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

台所・増設リモコンの場合



・自動湯はり中には循環アダプターから泡が出てくることがあります。
・湯はり運転中に給湯(シャワー)を使用すると湯はりが中断され、給湯栓からはふろ設定温度のお湯が出ます。お湯を使い終わると湯はり運転を再開します。
・残り湯を抜くときは、自動スイッチ(赤)が[illegible]てから行ってください。



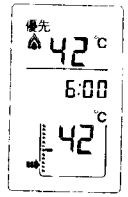
・保温の表示が出ている間にぬるく感じたときは、おいだきスイッチ(18ページ参照)を押すか、ふろ温度スイッチの▲を押してふろ設定温度を上げてください。
・残り湯で循環アダプターがかくれていない場合、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。
・残り湯で循環アダプターがかくれている場合、水位が多少バラツキます。※特に残り湯の温度がふろ設定温度に近いときは、約16リットルだけ湯はりし、設定した量になりません。
・自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることがあります。

3 自動スイッチを押します。

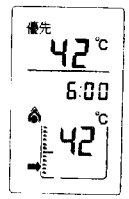
(台所リモコン)(増設リモコン)

(浴室リモコン)

湯はり中



沸きあげ中

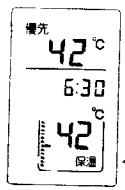


●自動スイッチが赤く光り、浴槽に湯はりを始めます。このとき表示画面には右図の表示が出ます。

お願い 湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、他の給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れないでください。

●おふろが沸きあがるとリモコンのブザーで約5秒間お知らせします。また、表示画面には右図のような保温の表示が出ます。

(浴室リモコン)



(台所リモコン)(増設リモコン)

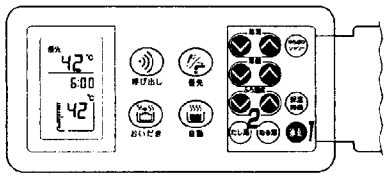
●保温の表示が出ている間は、お湯の温度が下がると自動的(注)においだきします。この保温時間は16ページの保温時間スイッチで決めます。

(注)ふろ設定温度などによって異なりますが、約20～60分ごとにふろ温度をチェックして、設定温度よりぬるくなっていれば自動的においだきします。

●保温時間が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチ(赤)も消えます。保温を途中で止めたいときは、自動スイッチ(赤)を押して消灯させてください。

使用方法③　ふろ温度の調節方法

浴室リモコンで操作します。

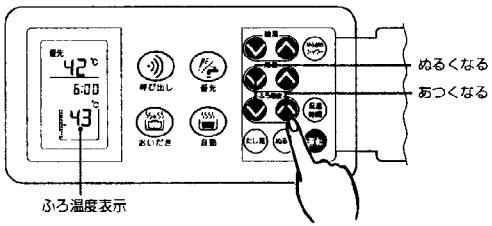


お買い上げの際には、ふろ温度（おふろへの湯はり温度）を42℃に設定してあります。このままでもご使用いただけますが、お好みの温度に変えることができます。

1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

2 浴室リモコンのフタの中にあるふろ温度調節スイッチを押します。

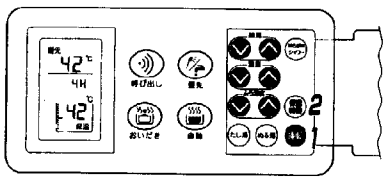


- 設定できる温度は37℃～48℃の12段階です。
  1℃きざみで一回スイッチを押すと1℃変わります。
  押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを一回ずつ押してください。
  ※温度表示はめやすです。

★あとは自動スイッチを押すと、設定した温度で湯はりして、自動的にストップします。

使用方法④　保温時間の変更方法

浴室リモコンで操作します。

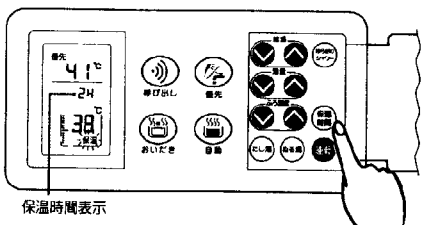


保温時間中は自動的に保温とたし湯を行います。
（たし湯は32-509型のみ）

1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

2 浴室リモコンのフタの中にある保温時間スイッチを押します。



- 表示画面の時刻表示部に現在設定されている保温時間が約5秒間表示され、保温の表示が点滅します。はじめは4時間(表示は4Hとなり、Hは時間の単位を表わします)に設定されています。
- 保温時間が表示されている間にもう一度保温時間スイッチを押すと、数字が4→2→1→0→8→6→4(単位はすべて時間です)の順に切り替わりますので、お好みの保温時間にしてください。上図は2時間に設定した場合の例です。
- 最後に保温時間スイッチを押してから約5秒で、表示が時刻表示に戻ります。これで設定完了です。

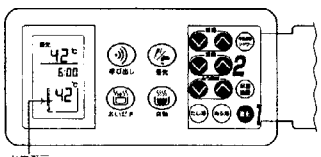
使用方法⑤　湯はり量(水位)の調節方法

浴室リモコンで操作します。

運転スイッチが「入」のときにフタの中にある湯量スイッチを押します。

■32-509型と31-277型では表示が異なります。それぞれ次のようになっています。

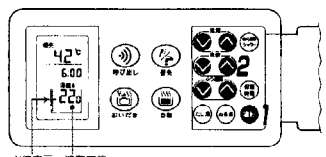
32-509型の場合



- 32-509型でいう湯量（水位）とは、循環アダプターから何cm上まで湯はりするかというめやすをいいます。
- はじめて電源を「入」にしたとき、水位表示は下から6番目（赤い線）になります。この設定の場合、1.5人用浴槽では循環アダプターから約25cmの位置まで湯はりして自動停止します。
- 湯量スイッチの▲を押すたびに水位表示は1目盛上がり、▼を押すたびに1目盛下がります。1目盛で水位が約3cm変わり、12段階に調節できます。最低設定で循環アダプターから約10cm上、最高で約43cm上になります。

機器本体が様式バス用の設定になっている場合、水位を下から6番目（赤い線）に設定すると循環アダプターから約17cm上まで湯はりします。1目盛は約2cmになります。

31-277型の場合



- 31-277型でいう湯量とは、浴槽に湯はりするお湯の量をいいます。
- はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は約200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目（赤い線）で示されます。
- 湯量スイッチの▲を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は右表のようにふえていきます。ただし、お子様のイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルに設定するときには、▲スイッチを1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400および990リットルに設定したとき、水位表示は表示されません。

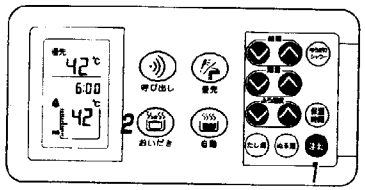
▲を押すとふえる　初期設定→　▼を押すとへる

湯量(リットル)	水位表示(下から)
(990)	表示なし
(400)	表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	(1)
60	(1)

- 湯量スイッチの▼を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は上表のようにへっていきます。ただし80リットルや60リットルに設定するときには▼スイッチを1秒以上押し続けてください。
- 湯量スイッチを押してから約5秒間は、表示画面のふろ設定温度が上図のような湯量表示に変わります。上図は湯量を220リットルに設定した場合の例です。湯量表示は約5秒たつと自動的にふろ温度表示に戻ります。

使用方法⑥　おいだきしたいときは

浴室リモコンで操作します。

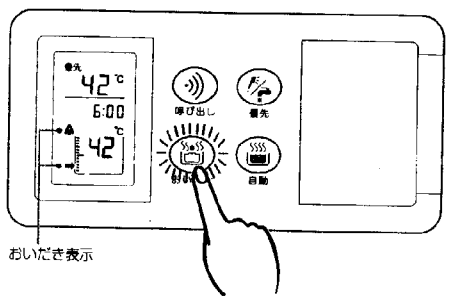


おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくることがあります。また循環アダプターからはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。

1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

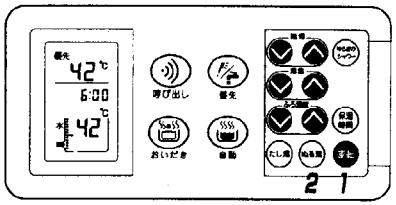
2 浴室リモコンのおいだきスイッチを押します。



- おいだきスイッチが緑色に光り、約3分間おいだきします。このとき表示画面には上図のおいだき表示が出ます。途中で止めたいときはもう一度おいだきスイッチを押してください。
- 浴槽のお湯の温度がふろ設定温度より約1.5℃以上ぬるい場合には、ふろ設定温度まで沸きあげます。その他の場合はふろ温度が約1.5℃上昇するまでおいだきします。
- 循環アダプターの上までお湯が入っていないときにおいだきスイッチを押すと、浴槽に約6リットル湯はりします。

使用方法⑦　おふろをぬるくするには

浴室リモコンで操作します。

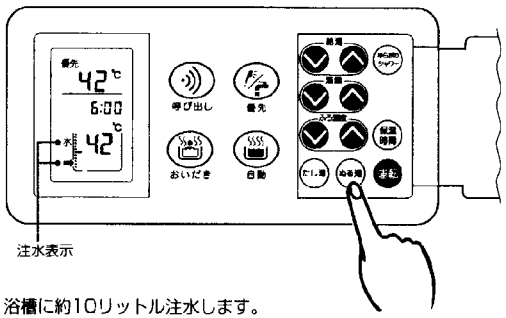


・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(27ページ参照)点灯中は、ぬる湯運転は一時中断されます。
・ぬる湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、ぬる湯運転は一時中断され、注水表示は静止状態になります。このとき給湯栓からは水が出ることもあります。
・ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。

1 表示画面の点灯を確かめます。

●表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

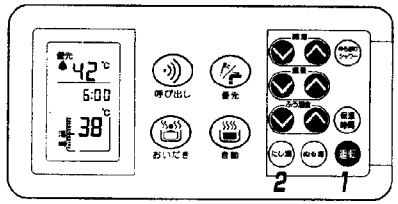
2 浴室リモコンのフタの中にあるぬる湯スイッチを押します。



●浴槽に約10リットル注水します。
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
●ぬる湯運転中は上図の注水表示が点灯します。
●途中で止めたいときはもう一度ぬる湯スイッチを押します。
ぬる湯機能が止まり、注水表示が消えます。
●ぬる湯運転が終わると、注水表示が消えます。

使用方法⑧　お湯をふやしたいときは

浴室リモコンで操作します。

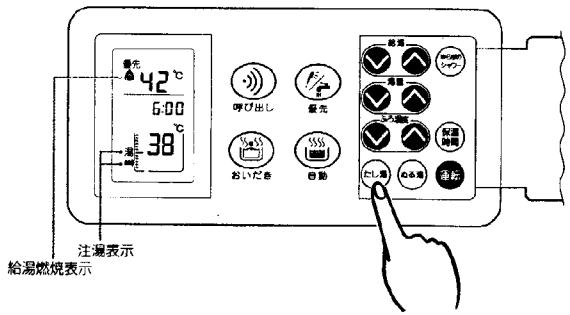


・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(27ページ参照)点灯中は、たし湯運転は一時中断されます。
・たし湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、たし湯運転は一時中断され、注湯表示は静止状態になります。このとき給湯栓からはふろ設定温度のお湯が出ることもあります。
・たし湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。

1 表示画面の点灯を確かめます。

●表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

2 浴室リモコンのフタの中にあるたし湯スイッチを押します。

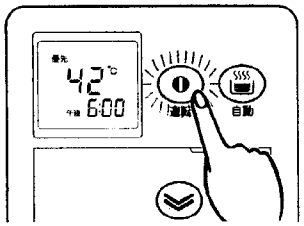


●浴槽にふろ設定温度(上の例では約38℃)のお湯約20リットルを湯はりします。
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
●たし湯運転中は上図の注湯表示と給湯燃焼表示が点灯します。
●途中で止めたいときはもう一度たし湯スイッチを押します。
たし湯機能が止まり、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。
●たし湯運転が終わると、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。

使用方法⑨　お好きな時間に湯はりをする「予約運転」のしかた

台所リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押します。

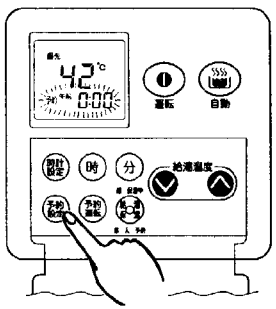


- 表示画面が点灯し、運転スイッチが緑色に光ります。時計の現在時刻があっているか確認してください。

予約時間は運転スイッチを「切」にしても機器が記憶しています。毎日同じ時間におふろを沸かす(予約時間を変更しない)場合は、1・5・6の操作だけで結構です。また、予約時刻を確認したいときは、予約設定スイッチを押してください。約10秒間予約時刻を表示してから現在時刻に戻ります。

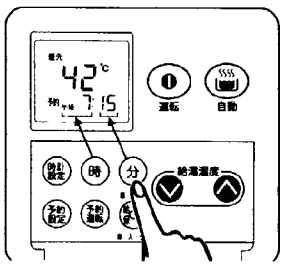
2 台所リモコンのフタの中にある予約設定スイッチを押します。

(続いて約10秒以内に3の操作に移ってください)



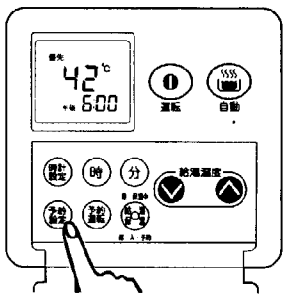
- 予約設定スイッチを押すと表示画面に「予約」の文字と午前0:00が点滅します。

3 時・分スイッチで湯はり完了時刻を設定します。



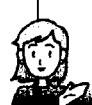
- 湯はり完了時刻を、時・分スイッチで表示画面に表示させます。(午前・午後に注意!)
- 押し続けると連続的に数字が変わります。
- 上図は午後7時15分に湯はり完了したい場合の例です。

4 再度、予約設定スイッチを押します。

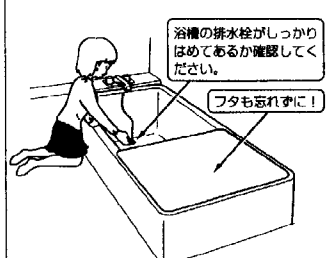


- 約3秒後に表示が現在時刻に戻り、「予約」表示も消灯します。
- 予約設定スイッチを押さなかった場合は、約10秒後に自動的に設定して現在時刻の表示に変わります。

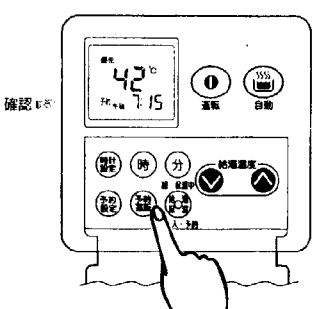
- 浴室リモコンのみ設置の場合は予約運転はできません。
- 予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内にすると、浴槽が大きいときや機器への給水圧力が低いときなどに、予約時刻になってもおふろへの湯はりが完了しないことがあります。
- 予約の変更はまず予約運転スイッチを押して予約を解除し、あとは2～6の手順で予約をし直します。
- 予約運転を中止したいときは、もう一度予約運転スイッチを押してください。
- 予約の表示が点灯しているときは、運転スイッチを「切」にしないでください。予約がキャンセルされ、予約運転の機能がはたらかなくなります。



5 浴槽に排水栓とフタをします。



6 予約運転スイッチを押します。

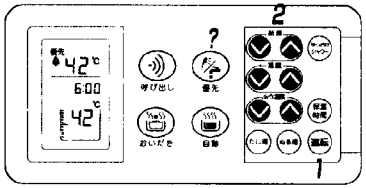


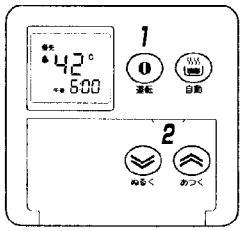
- 表示画面に「予約」の表示と3で決めた時刻が表示され、約3秒後に現在時刻に戻ります。
- これで予約ができました。あとは予約した時刻に沸きあがるよう、自動的に湯はりを始めます。

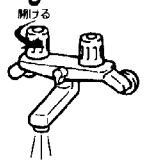
※予約した時刻になると「予約」の表示が消え、約5秒間(ピピピピッと約5回)ブザーでお知らせします。同時に「保温」の表示が点灯して保温運転に入ります。

使用方法⑩　シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節

浴室・台所・増設リモコンのどれでも操作できます。





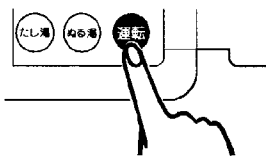


⚠警告

- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- おふろ(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、おふろ(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

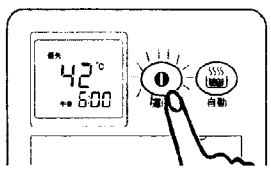
1 運転スイッチを押します。

浴室リモコンの場合



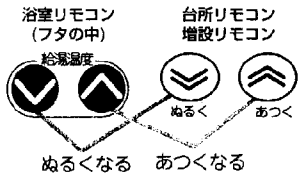
- 表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に台所・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

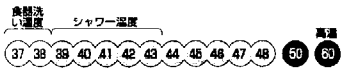
台所・増設リモコンの場合



- 運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示(オレンジ)が点灯します。また浴室リモコンの優先スイッチがオレンジ色に光ります。

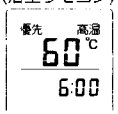
2 給湯温度スイッチで温度を決めます。





- 37℃から60℃まで上記の14段階に設定できます。温度は表示画面に表示されます。下図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。

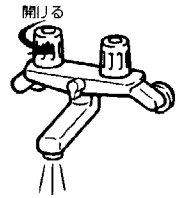
(浴室リモコン)



(台所リモコン)
(増設リモコン)

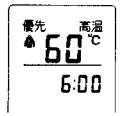
- 給湯設定温度が60℃のときは、上図のような高温表示(赤)が点灯して注意を促します。
- スイッチを押し続けると45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。

3 給湯栓を開けばお湯が出ます。

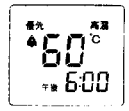


- お湯を使っている間は、表示画面に下図のような燃焼表示が点灯します。

(浴室リモコン)



(台所リモコン)
(増設リモコン)

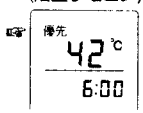


- 湯温を絞りすぎる(毎分約2リットル以下にする)とバーナの火が消えます。

? 運転スイッチが「入」になっているのに給湯温度が調節できない?

- 給湯温度が調節できるのは、表示画面に「優先」の表示が出ているリモコンだけです。これはやけどなどの事故を防ぐためです。

(浴室リモコン)



(台所リモコン)
(増設リモコン)

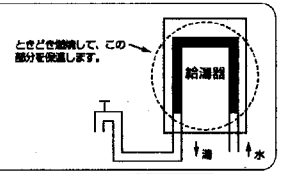
- この優先権を切り替えるには浴室リモコンの優先スイッチを押します。優先スイッチを一回押すたびに、優先権が浴室リモコン→台所および増設リモコン→浴室リモコン…と交互に切り替わります。

浴室リモコン優先のときは優先スイッチがオレンジ色に光ります。

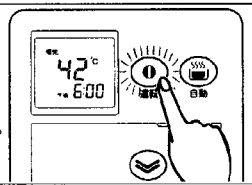
- お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
- 湯量が給湯能力以上の場合は、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出ることがありますので、湯量を絞ってお使いください。
- 給水温が高い場合は、リモコンの給湯温度設定よりも熱いお湯が出ることがあります。

使用方法⑪　給湯保温運転の使い方

Q.「給湯保温運転」とは何？
A. 機器内の水をあらかじめ加熱することで、お湯が出てくるまでの時間を短くする機能です。（ただし配管の中の水は保温しません）お湯を出していないときでも点火して本体内のお湯を暖めて保温し、給湯栓を開けたとき早めにお湯が出るようにします。
Q. 給湯保温機能を使っても損しないの？
A. 早くお湯が出てくるので、お湯が出るまでに使うガス量も捨てる水の量も少なく、損にはなりません。



台所リモコンで操作します。



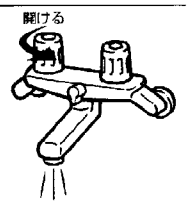
1 運転スイッチを押します。

- 表示画面が点灯し、運転スイッチが緑色に光ります。

2 台所リモコンのフタの中にある給湯保温スイッチを押します。

- 給湯保温ランプが赤または緑色に光ります。ランプが赤のときは給湯保温運転の準備中であることを示します。
- 給湯保温ランプが緑のときは給湯保温運転中であることを示し、給湯保温スイッチが『切』のときに比べてお湯の温度が早く安定します。
- 給湯保温ランプは、1時間以上お湯を使わなかった場合自動的に赤になり、給湯保温燃焼を行わない待機状態となります。
- 給湯保温運転を中止したいときは、もう一度給湯保温スイッチを押して給湯保温ランプを消灯させてください。

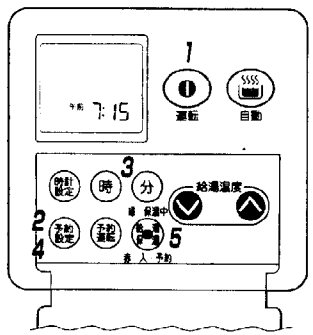
3 給湯栓を開けばお湯が出ます。



Q. 給湯保温運転の上手な使い方はありますか？
A. ①朝一番にお湯を使う場合には、予約運転が便利です。寝る前にスイッチを「切」にしても、朝には自動的に給湯保温運転を開始します。給湯保温運転の予約のしかたは26ページをご覧ください。
②寝る前や外出されるときや長時間お湯を使わないときには、給湯保温スイッチを『切』にしてください。約1時間お湯を使わなければ、給湯保温燃焼を行わない待機状態になりますが、ご使用されない時間帯には給湯保温運転を『切』にした方が無駄が少なくなります。
Q. 給湯保温機能を使っていても、最初に水が出るけれど？
A. 給湯配管中の水は保温できないので、その水が出るためです。

給湯保温運転を予約しておくことができます。

給湯保温スイッチを押さなくても、毎日同じ時刻に給湯保温の運転を行う便利な機能です。
現在時刻を設定しておかないと、給湯保温運転の予約はできません。
時計の合わせかたは12ページをご覧ください。



1 運転スイッチを押して『切』にします。

- 時刻のみ表示された状態になります。

2 予約設定スイッチを押します。

- 現在の予約時刻と給湯保温ランプが点滅します。はじめは午前6時にセットされています。

3 時・分スイッチで給湯保温運転を開始したい時間をセットします。

（右図は午前7時15分にセットした例です。午前・午後を間違えないよう、ご注意ください）

4 もう一度予約設定スイッチを押します。

- 時刻表示が現在時刻に変わり、給湯保温ランプの点滅が止まります。

5 給湯保温ランプが赤く点灯していることを確かめます。

- 給湯保温ランプが消灯している場合は、給湯保温スイッチを押して給湯保温ランプを点灯させます。

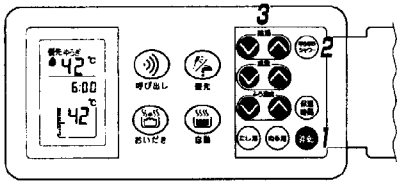
※あとは**3**でセットした時刻の1分前になると自動的に運転スイッチが『入』になり、給湯保温運転に入り、給湯保温ランプが緑色に光ります。（その後約1時間以上お湯を使わなかった場合、自動的に給湯保温燃焼を行わない待機状態となり、給湯保温ランプは赤になります）

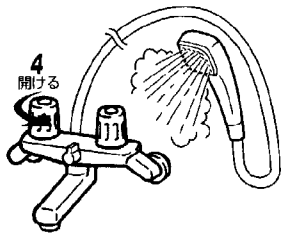
毎日同じ時間に予約する（予約時間を変更しない）場合は、*1*と*5*の操作だけで結構です。

- 予約時刻を確認したいときは、予約設定スイッチを押してください。約10秒間予約時刻を表示してから現在時刻に戻ります。
- 給湯保温スイッチは、『入』の状態で運転スイッチを『切』にすると自動的に『切』になり、再び運転スイッチを『入』にすると自動的に『入』になります。
- 運転スイッチと給湯保温スイッチを『入』のままにしておけば、毎日同じ時刻に給湯保温運転に入ります。
- 給湯保温運転の予約を行いたくないときは、上記**1**・**2**・**3**の手順で『時』『分』スイッチ両方を同時に3秒以上押してください。時刻表示が『--:--』となり、予約運転を中止します。

使用方法⑫　ゆらぎのシャワーの使い方

浴室リモコンで操作します。





⚠警告

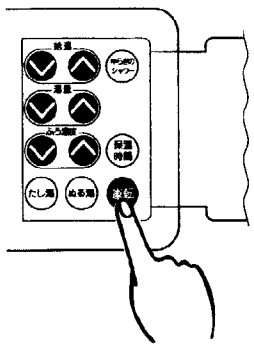
- 高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
  - ・妊娠中の方
  - ・医者から入浴を禁じられている方
  - ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
  - ・高血圧の方／体力の弱っている方／体調の悪い方

⚠注意

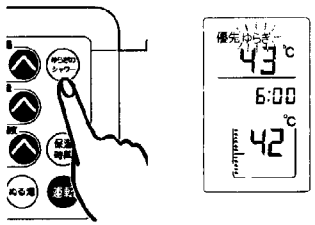
- 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
  サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。
  なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

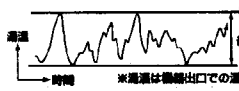


2 ゆらぎのシャワースイッチを押します。



- 表示画面にゆらぎの表示が出ます。この表示は約15分で自動的に消えます。

- ゆらぎのシャワーは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約1℃ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。



- 湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止・全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざめ促進にも有効です。

3 給湯温度スイッチでシャワーの温度を決めます。

- 設定できる温度は39℃～44℃の6段階です。

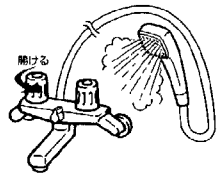
ゆらぎのシャワー温度

39 40 41 42 43 44

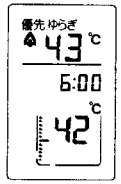
- 給湯設定温度が上記以外のときにゆらぎのシャワースイッチを押すと、設定温度が37℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。

- ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。
- ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が台所（および増設）リモコンに移り、給湯設定温度も台所（および増設）リモコンで設定されていた温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。

4 シャワー栓を開けばゆらぎのシャワーが楽しめます。



- このとき表示画面には下図のような給湯燃焼表示が出ます。



- ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は3で設定した温度のお湯が出ます。またシャワー栓を閉めるとゆらぎのシャワーは自動的に終了し表示画面のゆらぎの表示が消えます。

冬期の凍結による破損防止について

暖かい地域でお使いのお客様も、必ずお読みください。

⚠注意

- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

1 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ（給湯側）と自動ポンプ運転装置（ふろ側）が組み込まれています。

■操作のしかた

❶機器が外気温を感知し、自動的に作動します。このため寒冷時には、『浴槽の残り湯を捨てず、そのまま』にしておいてください。また、水位が循環アダプターより5cm以上、上にある状態にしておいてください。

❷電源プラグがコンセントに差し込まれている（分電盤の専用スイッチが『入』になっている）ことを確認してください。
抜けていると作動しませんのでご注意を！

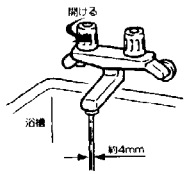
⚠注意

外気温が極端に低く（−15℃以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日はこの装置では凍結予防ができなくなります。このような場合には2、3の方法を行ってください。

2 給湯栓から水を流す方法

- この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。
ただし、上記対策その1同様電源プラグをコンセントから抜かないでください。

■操作のしかた



❶リモコンの運転スイッチを『切』にします。
❷ガス栓を閉めます。
❸おふろの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を流しておいてください。
※ サーモカランやワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。

⚠注意

- 水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。
- サーモカランやワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

3 水抜きによる方法

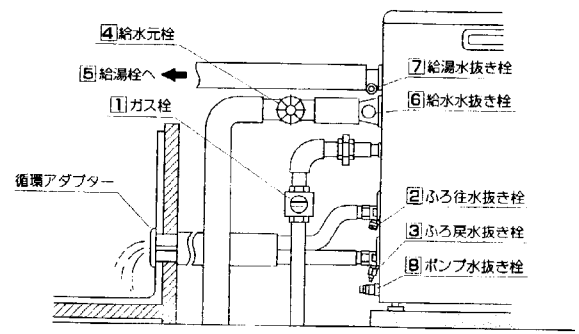
- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。

■ふろ側・給湯側の双方で行います。

1. 給湯側の水抜き

①運転スイッチを『切』にしてください。（電源プラグはまだ抜かないでください）
②ガス栓[1]を閉めてください。
③給水元栓[4]を閉めてください。
④給湯栓[5]をすべて（シャワーなどを含む）開けてください。
⑤給湯水抜き栓[7]を開けてください。
⑥給水水抜き栓[6]を開けてください。

給湯側から先に水抜きを行ってください。



2. ふろ側の水抜き

①ガス栓[1]が閉めてあることを確認してください。
②給水元栓[4]が閉めてあることを確認してください。
③浴槽の水を排水してください。（浴槽の排水栓を抜いてください）
④浴室リモコンの運転スイッチを押して（『入』にする）ください。
※表示画面が点灯します。

冬期の凍結による破損防止について

⑤浴室リモコンのおいだきスイッチを押して(『入』にする)、浴槽の循環アダプターから水(お湯)が出てくることを確認してください。
※2階浴槽など、浴槽が機器より高い位置にある場合は、ふろ往水抜き栓[2]を開けてから、浴室リモコンのおいだきスイッチを押して(『入』にする)、ふろ往水抜き栓[2]より水(お湯)が出てくることを確認してください。
⑥排水が止まったら再度おいだきスイッチを押して(『切』にする)おいだき運転を中止し、もう一度おいだきスイッチを押して(『入』にする)排水運転し、約1分間そのままにしておいてください。
⑦排水の確認後、運転スイッチを押して(『切』にする)ください。
※排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが、異常ではありません。
⑧ふろ往水抜き栓[2]、ふろ戻水抜き栓[3]、ポンプ水抜き栓[8]を開けてください。
⑨電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを『切』にしてください)

・以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
・ふろの水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。

《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

1. 機器給湯側に通水してください。

再度使う場合の(通水)は、給湯側から行ってください。

①給湯栓[5]をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。
②給水水抜き栓[6]、給湯水抜き栓[7]を閉めてください。
③給水元栓[4]を全開にしてください。
④給湯栓[5]を開け通水を確認した後、給湯栓[5]を閉めてください。

2. 機器ふろ側に通水してください。

①ふろ往水抜き栓[2]、ふろ戻水抜き栓[3]、ポンプ水抜き栓[8]をすべて閉めてください。
②電源プラグをコンセントに差し込んでください。
(分電盤の専用スイッチを『入』にしてください)
③リモコンの運転スイッチが『切』になっている(表示画面が消灯している)ことを確認した後、ガス栓[1]を全開にしてください。
④リモコンの運転スイッチを押して(『入』にする)ください。表示画面が点灯したら自動スイッチを押すと(『入』にする)自動的に注水されます。
※表示画面に給湯燃焼表示が点灯し、浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認してください。
⑤もう一度自動スイッチを押す(『切』にする)と、自動湯はりを中止します。

3. 機器への通水が終了しましたら、運転スイッチを押して(『切』にする)、表示画面が消灯するのを確認してください。

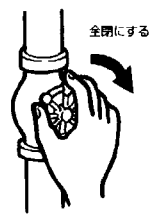
長期間使用しない場合は

■長期間ご使用にならない場合は、次のことを行っておいてください。

1 ガス栓を閉めます。

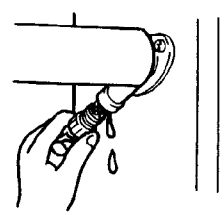
機器の側部

2 給水元栓を閉めます。



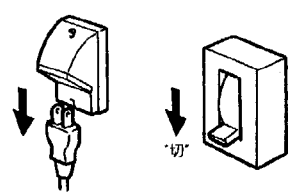
機器の側部

3 機器の水抜きをします。
(30・31ページ参照)



4 電源プラグを抜きます。
(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

⚠注意 ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。



機器付近の壁・分電盤

点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず●ガス栓を閉め●電源プラグを抜き●機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

■点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ（金網）を掃除してください。

水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルは販売店でお求めください。
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年１回程度の定期点検をおすすめします。

※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

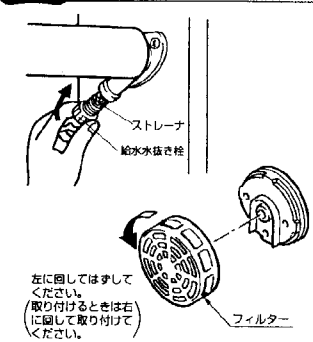
■お手入れ方法は

リモコンの内部には電気部品が入っていますから、水をかけないようにしてお手入れしてください。機器の故障の原因となります。

- **機器やリモコン**の表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布をかたく絞り、軽く拭き取ってください。
  洗剤、およびシンナー、ベンジンは使わないでください。
- 給水水抜き栓先端の**ストレーナ**にゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。

※必ず給水元栓を閉めてから行ってください。

- **機器の給気口**（機器底面の穴）がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。
- **循環アダプターのお手入れは**
  浴槽内のフィルタをはずし、月１回以上掃除してください。フィルタは手ではずせます。



故障！とお考えになる前に

■次のような場合は、故障ではありません。

こんなとき	理　由
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
ゆらぎのシャワーができない	夏期などは、給水温が高くなりゆらぎのシャワーの効果が得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。また、配管が長い場合は湯量が少なくなることもあります。
ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダーなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違ってまったく無害なものです。
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには燃焼排ガス中の水蒸気が白煙に見えますが、故障ではありません。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため出湯停止後もしばらく回転しています。
自動湯はり、たし湯の時間が長くかかることがある	自動湯はりやたし湯運転中にお湯を使うと、その分だけ湯はり量が減少してしまうために生じる現象です。
おいだき運転の途中でポンプが停止し、給湯燃焼表示が点灯する	おいだき運転開始時にふろ水流スイッチが入らない場合、ポンプへの呼び水のため約6リットルのお湯をはるためです。浴槽にお湯(水)がない場合やおいだき配管に空気が溜っていた場合に起こります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
給湯使用していないのに点火する。（燃焼ランプが点灯する）	お湯を早く出すために、給湯保温運転をしているためです。
給湯保温時間帯であるはずなのに、給湯保温ランプが赤（待機状態）になっている。	①お湯を使用せずに1時間経過していませんか？消し忘れを防止するため、1時間お湯を使用しない場合、給湯保温運転は自動的に待機状態になります。
	②給湯栓が十分に閉まっていますか？ 閉まっていない場合は、しっかりと閉めてください。 閉まっている場合は、給湯回路から水漏れしている可能性があるので、調べてください。
給湯保温運転をしているのに、お湯がすぐに出てこない。	給湯保温運転をしていても、配管中の保温はできないため、配管中の水が出るまではお湯になりません。
時刻表示が-:- -になっている	停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が -:- - になります。再度設定しなおしてください。(12ページ以降参照)
表示画面の表示が乱れる	リモコンを乾いた布で拭いた場合、表示が乱れることがあります。この場合放置(30分以上)しておくと正常に戻ります。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためときどき回ります。

故障！とお考えになる前に

■次のような場合は、ココをお調べください。

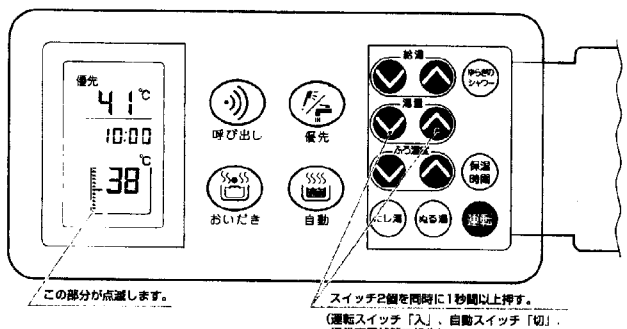
こんなとき	ココをチェック
表示画面が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
	停電していませんか。
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
「自動スイッチ」を押しても動かない。	給水元栓が全開になっていますか。
	断水していませんか。
湯はり時間が長くかかる	おふろの排水栓はしっかりはまっていますか。 (湯はり中に給湯を使用すると、給湯中は湯はりが停止します)
「給湯燃焼表示」▲が点灯しない お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか。
	給水元栓が全開になっていますか。
	断水していませんか。
	給湯栓が十分開いていますか。
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか。
	湯温調節は適切ですか。
	混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯温度を60℃に設定してください。
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか。 (27ページ参照)
	運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後、給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障(水量制御装置)ですので、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
「ふろ燃焼表示」▲が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。
	浴槽に水が入っていますか。
おふろ使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか。
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度の設定は適切ですか。 (15ページ参照)
浴槽の水が少ない(多い)	湯はり量(水位)の設定は適切ですか。 (17ページ参照) (浴槽の残り湯が循環アダプターより下にある状態で自動運転をした場合、水位が高めになり、お湯があふれることがあります)

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

32-509型をお使いのお客様で増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります。下記手順に従って記憶内容の消去および自動運転の試運転を行ってください。

1. 現在記憶している記憶内容を消去してください。

浴室リモコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから下図の2つのスイッチを同時に1秒以上押し続けてください。



※電源プラグをコンセントから抜くだけでは、記憶内容の消去はできません。

2. 浴槽の残り湯をすべて排水してください。

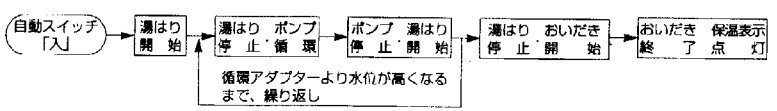
浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長くかかったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

3. 排水栓をしっかりと閉めてください。

4. 自動スイッチを押す(「入」にする)と自動湯はりが開始されます。

運転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。
運転中何回か停止しますが異常ではありません。

自動運転の動き(例)



試運転の終了まで、20~30分かかります。

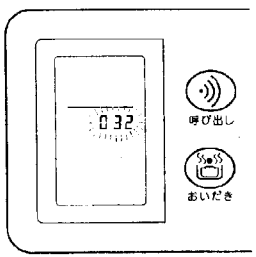
5. 試運転が完了し、浴槽サイズと水位とを記憶しました。

故障・異常の見分け方と処置方法

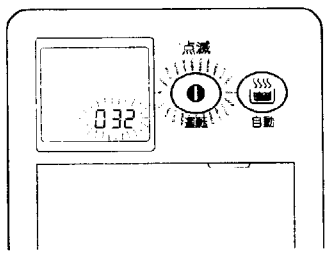
機器が故障すると表示画面の時刻表示部に下表のような故障表示が点滅し、台所および増設リモコンでは運転スイッチ(緑)も点滅します。故障表示が点滅した場合はガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認してからもう一度操作してください。

- 再操作しても故障表示が点滅するときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

浴室リモコン



台所リモコン
増設リモコン



故障表示	使用状態
032	自動
101	給湯 自動
111	給湯 自動 たし湯
112	自動 おいだき
121	給湯 自動 たし湯
122	自動 おいだき
140	給湯 自動 おいだき たし湯
161	給湯 自動 (おいだき) たし湯

故障表示	使用状態
190	給湯 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
252	自動 おいだき
312	自動 おいだき
321	給湯 自動 (おいだき) たし湯
331	給湯 自動
432	自動 おいだき
502	自動 おいだき たし湯 ぬる湯
521	給湯 自動 たし湯

故障表示	使用状態
611	給湯 自動 おいだき たし湯
612	給湯 自動 おいだき たし湯
632	自動 おいだき
710	給湯 自動 おいだき たし湯
721	自動 おいだき たし湯
722	自動 おいだき
730	給湯 自動 おいだき
901	給湯 自動
991	給湯 自動

主な仕様

品名		ガスふろ給湯器	
		32-509	31-277
型式名		RUF-2403AGN(A)	RUF-2403SAGN
設置方法		屋外据置設置	
外形寸法 (mm)		高さ590(脚10含む)×幅590×奥行220	
質量 (kg)		36	
最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/cm²)	
最低作動水量(L/min)		2.7	
接続	給水・給湯	20A(R3/4)	
	ガス	LPG用は15A(R1/2)、13A・12A用は20A(R3/4)	
電源		AC100V(50/60Hz)	
消費電力(W)(50/60Hz)		170/200(常時10、別途凍結予防ヒータ110)	
点火方式		連続放電、ダイレクト点火方式	

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

●表示ガス消費量

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当りのガス消費量:kW ( )内はkcal/h			出湯能力(能力最大)	
		同時使用時	給湯	ふろ	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)
都市ガス用	13A	63.9(55,000)	52.3(45,000)	11.6(10,000)	24.0	15.0
	12A	59.5(51,200)	48.7(42,000)	10.8(9,300)	22.3	13.9
LPガス用		63.9(4.56kg/h)	52.3(3.74kg/h)	11.6(0.83kg/h)	24.0	15.0

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。